

2019年8月28日
株式会社みずほ銀行

第7回アフリカ開発会議（TICAD VII）に参加した アフリカ諸国の機関との業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治）は、第7回アフリカ開発会議（TICAD VII）（※）に参加し、8月27日と8月28日に、以下の機関との間で業務協力覚書を締結しました。

※ TICAD は、Tokyo International Conference on African Development の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年以降、日本政府が主導し、国連等と共同で開催しています。TICAD VIIは8月28日～30日に横浜市で開催されています。

	締結先	国・地域	内容
1	アフリカ貿易保険機構	域内14カ国	信用保険・情報交換等での協働
2	アフリカ輸出入銀行	域内51カ国	トレードファイナンス等の分野での協働・連携
3	アティジャリワファ銀行	モロッコ王国	銀行業務を中心とした幅広い分野での協働
4	スタンダードバンク	南アフリカ共和国	ジャパンデスクの設置

締結先や締結内容の詳細は別紙をご参照下さい。

当行は、南アフリカ共和国のヨハネスブルクに出張所を有しており、在ロンドンの欧州プロダクツ営業部や在ドバイの中東営業部等と協働して、お客さまのアフリカへの進出や、アフリカでの金融取引のサポートを行ってきました。

今般の覚書は、お客さまにご提供するサービスの充実とアフリカでのネットワークの拡充を目的に締結しました。〈みずほ〉は、今後もグループの総合力を最大限に活用して、アフリカへの新規進出や事業拡大を検討するお客さまをきめ細かくサポートするとともに、アフリカの経済発展にも貢献していきます。

以 上

1. アフリカ貿易保険機構との業務協力覚書の締結について

- ・ 8月28日、アフリカ貿易保険機構（African Trade Insurance Agency、Acting CEO：John Lentaigne）との間で、信用保険および情報交換等に関する業務協力覚書を締結しました。
- ・ 本覚書締結により、アフリカ貿易保険機構が有するノウハウおよびネットワークを活用することが可能となり、また、同機構から直接信用保険を購入することで、よりスピーディーな案件対応およびさらなるリスクテイクが可能となります。
- ・ アフリカ貿易保険機構は、東南部アフリカ市場共同体（COMESA）がアフリカにおける貿易取引や同地域への投資促進を目的に、2001年に設立されたケニア共和国に本部を構えるアフリカで唯一の多国籍保証機関です。同機構は、アフリカ域内14カ国におよぶメンバー国の案件を中心に政治リスク保険や信用リスク保険の提供を行っています。

2. アフリカ輸出入銀行との業務協力覚書の締結について

- ・ 8月28日、アフリカ輸出入銀行（The African Export-Import Bank、以下「Afreximbank」、President：Benedict O. Oramah）との間で、当行のお客さまへのトレードファイナンス等の金融サービス強化を目的に、貿易金融の協働等に関する業務協力覚書を締結しました。
- ・ 本覚書締結により、アフリカ略全域においてトレードファイナンスが提供可能となり、日系企業を中心としたお客さまへの支援体制の充実を図ります。
- ・ Afreximbankは、1993年に設立されたエジプトのカイロに本部を置く国際開発金融機関であり、域内51カ国の経済発展のため、ECAファイナンス、プロジェクトファイナンス、アドバイザリー業務を提供しつつ、輸出入銀行として、特にトレードファイナンスに注力しています。

3. アティジャリワファ銀行との業務協力覚書の締結について

- ・ 8月28日、アティジャリワファ銀行（Attijariwafa Bank、以下「AWB」、Chairman and CEO：Mohamed El Kettani）との間で、北部・西部・中部アフリカにおける金融サービスの強化を目的に、銀行業務を中心とした幅広い分野で業務協力覚書を締結しました。
- ・ 本覚書締結により、モロッコのみならず、AWBが子会社を通じて展開している北部・西部・中部アフリカにおいてフルラインの銀行サービス提供が可能となります。
- ・ AWBは、2004年にBanque Commerciale du Maroc（1911年設立）とWafabank（1904年設立）の統合により誕生したモロッコ最大の民間金融機関グループです。アフリカ域内でも資産規模535億米ドル、全世界に5,000弱の支店、2万人超の従業員を有しており（*1）、北部・西部アフリカの仏語圏を中心に14カ国に展開しています。

*1 2018年12月末時点

4. スタンダードバンクとの業務協力覚書の締結について

- ・ 8月27日、スタンダードバンク(The Standard Bank of South Africa Limited、Chief Executive: Lungisa Fuzile) との間で、ジャパンドスクの設置に関わる業務協力覚書を締結しました。
- ・ 2012年2月、当行はスタンダードバンクとの間で、日系企業を対象として、現地通貨の決済業務、現地通貨建てローン、トレードファイナンス、プロジェクトファイナンス等の金融サービスの強化を目的に、銀行業務を中心とした幅広い分野での業務協力覚書を締結し、2016年8月に業務協力の範囲を非日系企業まで拡大しています。
- ・ 今般、スタンダードバンクへのジャパンドスク設置により、サブサハラアフリカでのビジネスを検討する日系企業に対し、よりスピーディーな金融サービスの提供が可能になります。みずほ銀行とスタンダードバンクは、今後も相互に連携・協力し、お客さまへのサポート体制を拡充していきます。
- ・ スタンダードバンクグループは、1862年に設立された、グループ全体の総資産約1,570億米ドル、従業員数約52,000人を抱えるアフリカ最大の民間銀行(*2)です。アフリカ20カ国に拠点網を展開し、幅広い金融サービスを提供しています。スタンダードバンクはスタンダードバンクグループの100%子会社で南アフリカ最大の銀行です。

*2 2019年6月末時点

以 上